

東日新聞

TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社 <https://www.tonichi.net>
〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail:post@tcnichi.net

地域を笑顔に

- ② 工科大生が地元企業取材し映像制作
- ⑦ 文化サロン汽水域で7月4日まで早川洋介絵画展
- ③ 若戸小学校で輪菊の学習、体験も
- ⑩ 【寄稿】南吉と東三河
- ⑥ 農学系学部の開設に尽力の愛大OB
- ⑪ 20日に豊橋空襲を語り継ぐ会

各メーカー車販売・車検・整備・各種保険

しあわせ仲間
ダイハツスーパービート車
 AIG 自動車保険 FWD 富士通 代理店
 24時間受付 24時間緊急サービス 代理店
(有)加藤自動車
 代表取締役 加藤 勇雄
 愛知県豊橋市神野新田町ノ割11番地の5
 TEL.(0532)31-3244 FAX.(0532)31-3408 0120-07-3244



節目で活動にピリオド

愛大OB・越知専さん

創設者の考えを伝える

収藏品充実に100万円母校に寄付

愛知大学創立者の本間喜一(1891~1987年)の考えを伝へ、創立時の構想実現などに向け東奔西走した豊橋市の愛大OBが、90歳を区切りに約四半世紀の活動に終止符を打った。創立者の紹介のほか、奨学基金の提供や農学系学部開設などに尽力した。大学関係者は「長年の活動にお疲れさまでした」と感謝している。

「本間イズム実例編」出版などで生き方紹介

■「欣然愛人」
 このOBは市内小松町の越知専(まこと)さん。5月、最後となる著書「愛知大学―本間イズム実践編―日々是新(ひびこれあらたなり)―令和に託して」を出版した。豊橋校舎にある愛大のルートが飾られている東亜司文書院大学記念センターに「本間さん

の収藏品を新たに開示し、展示室を充実してほしい」と要望書を出したと記し、愛大に1000万円を寄付した。末尾に本間さんの座右の銘

長年にわたり愛大創立者の考えを啓もうしてきた越知さん。これまで出版した著書が並ぶ(豊橋市小松町の自宅で)

の一つ、周りの人たちの喜び姿を見て自分の喜びに感じるという「欣然愛人」(きんぜんあいじん)とつづり、これまでの関係者の協力に感謝した。

本間さんの考え「本間イズム」の啓もうするきっかけとなったのが1997年ごろ。愛知大学創成期からの想(おも)い出写真文集」を発

刊した際、その過程において戦後混乱期で自由な雰囲気でない主的な大学運営にあたる本間さんに感心し、記念センター客員研究員・運営委員に携わった2006年から本格的にその考えを研究し、講演や新聞などで啓もうに努めてきた。

■「愛大愛」
 本間さんが強い信念をみせたのが、敗戦直後の46年の愛大創立時。東亜同文書院大学(現中国)から引き揚げた学生、教員の「受け皿」としてつくったが、学生を戦場に送った責任を感じ、初代学長に就かなかったとい

う。常に学生思いだった。2代学長の時から争われていた「大学の自治か警察権か」の裁判(いわゆる愛大事件)で、弁護士として学生を弁護。4代学長の時の山岳部員13人が死亡した薬師岳遭難事故では「生命は地球より重い」として学長を辞任した。

ユーモアに富んだところも。65年に勲章を受章した時「おれは要らんよ」と愛犬の首にかけたこと、もあってとされる。ほかに優秀な教授がもたらすべきだと考

えがあり「受け取るべきでない」との意味が込められていたそう。

越知さんは09年に出版した「本間イズムと愛知大学」実例編と資料編」でもこうした本間さんの生きざまを紹介。当時を振り返り「愛大を愛し、学生を愛した人だった」と高く評価した。

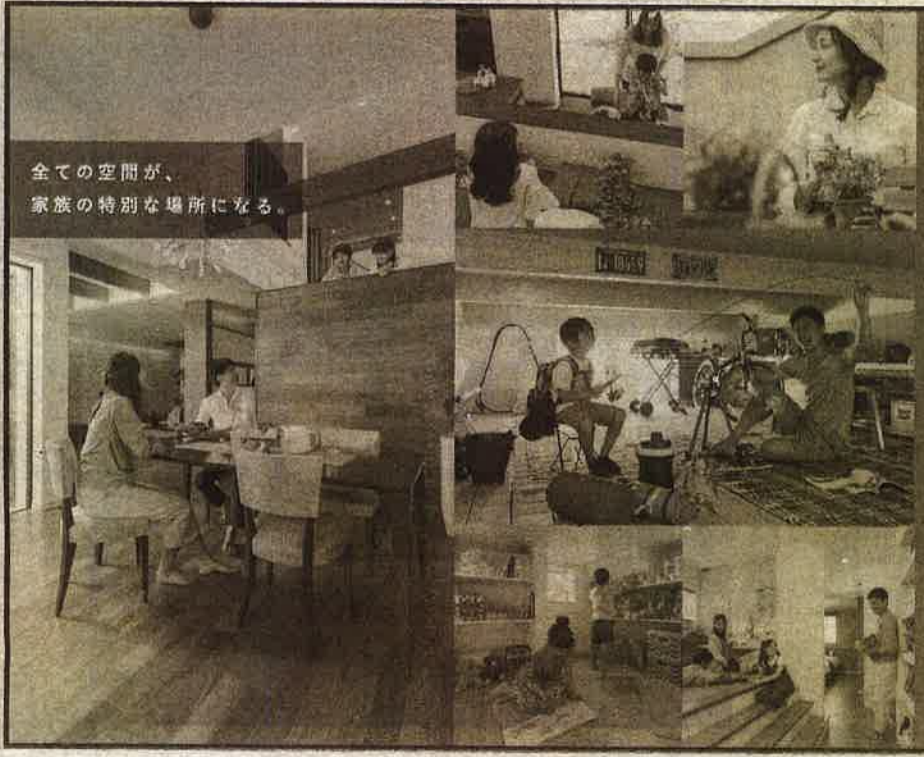
キーワード

■本間喜一 検事、判事、東京商大(現一橋大)教授となり、東亜同文書院大(現中国)教授を経て、1944年から学長。敗戦後、同大のほか、京城帝国大(現韓国)、台北帝国大(現台湾)などの教職員に呼びかけ、46年11月に旧制愛知大学を創立した。49年に学制改革で新制大学となり2代、4代の学長。学長前に最高裁初代事務総長を務めた。愛大名譽学長。

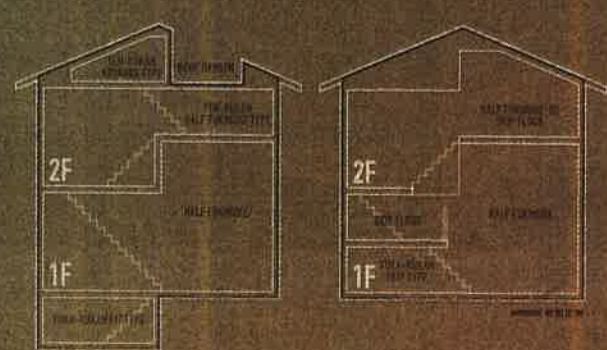
風針

三つうけ つ・やぞ う)は18

93(明治26)年12月、岐阜県恵那郡蛭川(ひるかわ)村に生まれた。父・秋三郎、母ひろの長男。額縁姓は岐阜県的美濃地方に多く、染物の一種である額縁染に由来、ハナブサ(英)、クグリと訓じたものがあり、美濃久々利には「くぐり神社」がある。東濃中学校(現・東濃高校)から一高、京都帝大法学部に進んだ。弥三は1920年、内務省に入省、高文試験に合格して北海道庁警視、石狩、空知支庁長を経て、27年、警視庁特高課長兼外事課長になる。以後、静岡県、三重県の警察部長から上海領事、39年に大分県知事、42年には文部省国民教育局長を務めて43年に退官している。公職追放解除後の55年から衆議院議員を4期11年務め、78年、85歳で死去している。同郷同姓の額縁(1951年生まれ)は「戦争と弾丸」三・一五事件と特高課長・額縁弥三の軌跡(新日本出版社)を著した。



「まるごと外断熱」だからできる
 やりたいこと
 「まるごと叶える」暮らし。



100%
 PLAY
 HOME
 暮らし

Salé サラ住宅株式会社

農学系学部への開設に尽力

奨学金援助制度の創設に貢献

愛知大学創立者の本間喜一を尊敬するOBで豊橋市小松町の越知専(まこと)さんは、「本間イズムと愛知大学」実例編と資料編を出版した2009年ごろから本間さんの考えの啓もうから実践へと大きくかじを切った。きっかけは創立に決意を示した一通の手紙が見つかったからだ。



■決意の手紙
手紙は創立直前の1946年9月、差出人の本間さんがお愛大創立時に本間さんが甥と母に宛てた手紙の「要約版」

いかに宛てた。東亜同文書院大学に代わる大学を設立し、学生や教授たちを救済する」と記し、「法経学部でスタートし、文学部、農学部、水産専門部を設置」と続

く。そのうえで「大陸に志す者の中心人物を養成したい」とつづっている。

越知さんが2009年、本間さんの長女、殿岡展(あき)さんと一緒に山形県川西町の本間さんの実家を訪れて見つけた。すでに大学に寄贈されている。

手紙の発見と前後して創立時に掲げていた農学部構想の復活に力を入れ、「愛大に『農業』『環境』学科を」と東日新聞などに寄稿。OBらで立ち上げた「みらい塾」に働きかけて

同窓会の総会や大学側に豊橋校舎に農学系学部の実現を提言した。18年、地域政策部に食農環境コースが開設された。

さらにこのコースの開設に合わせ、本間さんの出身地の川西町に5000万円

を寄付した。町は奨学金援助制度を創設し、農業分野で学びたい東北地方の学生を支援している。

越知さんは12年に出版した「本間イズム実践編―日々は新(ひび)これあらたなり」の「半世紀の記録」15年の「続編」19年の「昭和・平成から令和に向けて」でこれまでの活動をとり上げ、本間さんが一部やり残していたことを実現した。

■「中和致」
1953年の卒業後、市内で理容店を営み、来店する本間さんと出会った。会えば会うほど含蓄のある人と感じ、本間さんの考えを研究するようになった。本のタイトルの「日々は新」は「日々、反省し、心を新たに」として今日を迎える」と意味し、「欣然愛人(きんぜんあいじん)」とともに本間さんの座右の銘の一つだ。

「中和致」(ちゅうわい)も本の中で表現した。中国の『中庸』に出ており、簡単に説明する

と「石の意見も左の意見も、すべてそれを要約してみんなのためになるようにせよ」。活動を通して、これが「本間イズム」と結論に達した。

取材に対し「本間さんは素晴らしい一語。この人に陶酔し、やれることはすべてやったつもりだ。あとは後輩たちに託したい」と総括した。

東亜同文書院大学記念センターの藤田佳久・元センター長は「設立時の最大の貢献者の本間さんを浮かび上げられ、ありがたかった。多額の寄付に感謝します」とたたえ、「学生は大学の歴史を振り返り、目的を持ち進んでいってほしい」と話した。

愛大広報課の中野貴文課長は「長年にわたる尽力に感謝します。本間さんの『欣然愛人』の精神は本学のなかで継承されており、次代につながるいでいくことが大切と考えています」とコメントした。

【浜名湖CC】FDK会 ※状況により、内容変更の場合があります。

ゴルフコンペ

得

愛大OB・越知氏 尊敬する創設者・本間喜一の啓もうから実践へ



同窓会の総会や大学側に豊橋校舎に農学系学部の実現を提言した。18年、地域政策部に食農環境コースが開設された。

さらにこのコースの開設に合わせ、本間さんの出身地の川西町に5000万円

を寄付した。町は奨学金援助制度を創設し、農業分野で学びたい東北地方の学生を支援している。

越知さんは12年に出版した「本間イズム実践編―日々は新(ひび)これあらたなり」の「半世紀の記録」15年の「続編」19年の「昭和・平成から令和に向けて」でこれまでの活動をとり上げ、本間さんが一部やり残していたことを実現した。

■「中和致」
1953年の卒業後、市内で理容店を営み、来店する本間さんと出会った。会えば会うほど含蓄のある人と感じ、本間さんの考えを研究するようになった。本のタイトルの「日々は新」は「日々、反省し、心を新たに」として今日を迎える」と意味し、「欣然愛人(きんぜんあいじん)」とともに本間さんの座右の銘の一つだ。

「中和致」(ちゅうわい)も本の中で表現した。中国の『中庸』に出ており、簡単に説明する

と「石の意見も左の意見も、すべてそれを要約してみんなのためになるようにせよ」。活動を通して、これが「本間イズム」と結論に達した。

取材に対し「本間さんは素晴らしい一語。この人に陶酔し、やれることはすべてやったつもりだ。あとは後輩たちに託したい」と総括した。

東亜同文書院大学記念センターの藤田佳久・元センター長は「設立時の最大の貢献者の本間さんを浮かび上げられ、ありがたかった。多額の寄付に感謝します」とたたえ、「学生は大学の歴史を振り返り、目的を持ち進んでいってほしい」と話した。

シネマライフ

「トゥルーノース」



「トゥルーノース」のワンシーン

在日コリアン4世の清水ハン栄作監督が、収容体験をもつ脱北者にインタビューを行い、10年の歳月をかけて完成した渾身(こんしん)の3Dアニメ。北朝鮮の政治犯強制収容所に家族と共に連行された少年の成長を通して「人は何のために生きるのか」を問いつける。

在日朝鮮人の帰還事業で北朝鮮に渡り、平壤で暮らしていたヨハン少年の一家。

1995年、父が政治犯の疑いで逮捕され、連座制によりヨハンと妹のミヒ、母のユリも強制的に収容所に連行される。

9年後、飢えと寒さと過重労働に耐えながら青年になったヨハンは、家族の食料を得るために隣人の盗みを密告したばかりか、看守と近い監視グループに入り、特権を手に入れる。

だがそれによって恨みを買った、大切な人を失ってしまう破目になってしまふ。

絶望のどん底で、寝食を繰り返すだけの人生に何の意味があるのか。自問自答するヨハン。彼のむなしさと苦悩が、アニメという寓話性の高い表現スタイルを通じてリアルに伝わってくる。

母は死の直前にヨハンに語る。誰が正しいとか間違っているということではなく、誰になりたいかを自分に問いなさい。

やがてヨハンは、ミヒのすすめではじめた看護を通して思いやりを取り戻し、他者の心に希望の灯を与えられる人間に変わっていく。

人を助けることで、自分自身も救われる。そこに生きる意味を見いだすヨハンの心の成長に胸が熱くなる。

舞台は北朝鮮だが、政治色は濃くない。家族愛、友情、脱走サスペンスを織り交ぜたヒューマンアニメ。

(日本・インドネシア合作映画/94分)

芸能短信

コロナ禍で愛育んだカトパン
◇…お笑い芸人・有吉弘行(47)と結婚した夏目三久(36)をはじめ、森川夕貴(27)、永島優美(29)など、人気アナウンサーの結婚が続いている。

◇…そんな中、真打ともいえるカトパンことフリーアナウンサーの加藤綾子(36)が、一般男性と今月デビューブライド婚をしたと発表。
◇…これまでエグザイル

のNAOTO(37)と交際が報じられたが破局し、今回の一般男性と1年ほどの交際でゴールインしたもよう。
◇…カトパンは相手の男性を「どんな時でも自然体

で心穏やかな人柄に魅かれました。彼と一緒に互いに感謝を忘れず、笑顔あふれる家庭を築いていきたい」と報告。周囲からは「おめでとうのメッセージが殺到している」。

都市対抗
ナイフ
長尾里七が長大会へ

両チームは8月22日、29日に豊橋市で

(東)鈴木久保山(バ)川上秋屋

豊橋シニアリーグ
各チームが

得



CB LEAGUE

三遠ネオフェニックスは21日、山内盛久(サンロッカーズ渋谷)と2021-22シーズンの選手契約を締結したと発表した。